

【島原半島南部漁協の朝市開催】

令和6年11月23日（土）、南島原市の島原半島南部漁協において朝市が開催されました。

朝市では、組合員が有明海で漁獲したタイ、ヒラメ、アラカブ（カサゴ）、カワハギ、イセエビなどの魚介類や養殖のヒオウギ貝、干物などの加工品が販売されました。

朝市は、午前9時から始まり、予想以上に多くのお客さんが来場され、30分ほどで完売しました。

島原半島南部漁協がある口之津町には、以前は魚を販売する店が多くあったそうですが、今は魚などを販売するところはスーパーと鮮魚店の1店ずつになっています。

地元で水揚げされる新鮮な魚介類の販売が人を呼び込み、地域の賑わいに繋がればとの思いもあり開催に至り、天候や漁模様にもよりますが、毎月開催を考えているとのこと。

次回の開催予定は12月22日（日）9時からです。



朝市の様子



アラカブ（カサゴ）



鮮魚（マダイ、ヒラメなど）



ヒオウギ貝